

令和3年 12月 7日～ 9日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 気候危機への対応について</p> <p>気候危機は緊急に解決しなければならない死活的大問題になっている。地球温暖化対策推進法改正で地方自治体の新たな取り組みも求められている。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 気候危機について市長の所見は。</p> <p>② 昨年12月議会で「カーボンゼロシティ鳥羽」を提案した。市長は「同感する。関係課と相談する」と答弁した。1年経過した。どうなっているのか。</p> <p>③ 地球温暖化対策推進法改正で地方自治体の新たな対応が求められた。鳥羽市はどう対応するのか。</p> <p>④ COP26は森林破壊終結で合意した。メガソーラーによる本市の森林破壊面積はどれだけか。失われたCO2吸収力はどれだけか。今後どれだけの面積が計画されているか。</p> <p>⑤ コロナ禍からの復興は「グリーン・リカバリー」が課題になっている。本市はどのようなビジョンを描いているか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 生活苦の市民救済と新年度予算編成方針について</p> <p>コロナ禍は貧困世帯の暮らしを圧迫し続けている。鳥羽市民が無事に年を越し暖かい正月を迎えられる環境を整えるのは政治の責任である。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 異常な原油高が家計を圧迫している。貧困家庭に対する「福祉灯油」など救済策を講じた自治体もある。鳥羽市はどうか。</p> <p>② 「鳥羽市子どもの貧困対策計画」によれば鳥羽市のひとり親世帯の子どもの貧困率は59%にのぼる。年越し支援策が求められている。どうするのか。</p> <p>③ 市民の暮らしを向上させるために地域経済の域内好循環は不可欠の課題になっている。新年度予算編成において域内循環をどこまで進展させるのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 菅島採石問題について</p> <p>菅島採石場緑化協定書は「緑化を平成34年3月31日までに終結する」と規定している。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>① 協定書は鳥羽市、菅島町内会、鶴田石材株式会社がそれぞれ捺印、締結した。市長は調印の責任を果たし緑化終結を成し遂げる決意か。</p> <p>② 署名捺印した3者はこの7年間、契約内容を誠実に履行してきたか。</p> <p>③ 菅島採石に関して行政はどう対応してきたか。歴史的経過を問う。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	浜 口 一 利
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市水産研究所の取り組みについて</p> <p>鳥羽市水産研究所は水産振興の拠点としての役割を担い、各機関との連携により、持続可能な水産業の在り方を目指した事業展開及び市の水産資源を幅広く活用していくための多分野連携による事業展開を必要として、本格運用がされています。</p> <p>水産研究所は、これまでの種苗生産及び藻類研究の更なる発展に加え、本市ならではの海洋教育の確立に努めるとしてはいますが、漁業者の現場では、毎年のように繰り返される海苔の色落ち被害をはじめ、藻場の減少によるアワビ資源への影響や、カキのへい死問題など水産業への不安要素が多く有ります。</p> <p>そこで、本格運用されてから日も浅い段階ではありますが、鳥羽市水産研究所の取り組みについて次の点について聞く。</p> <p>① 種苗生産業務について。</p> <p>② 拠点を本土に移してどのように変わったのか。また、漁業者からはどのような声があるのか。</p> <p>③ 研究所を軸にした今後の海洋教育について。</p> <p>④ 三重大学ほか、近隣の研究所との連携について。</p> <p>⑤ 持続可能な漁業が営まれる環境創出を目指すとするが、近年、非常に危ぶまれる現象が多くある。このような不安要素にどのように対処していくのか。</p> <p>⑥ これまでの現場実践の継続が可能なのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市長が目指すまちづくり施策への考え方と今後の取り組みについて</p> <p>市長就任からこれまで多くの事業を行ってきたが、懸案となっている事業や解決の方向を見いだせていない施策もある。厳しい懸案事業があることは承知しているが、市の姿勢、あるいは方向性を市民に説明していくことも市として大切なことではないかと考える。</p> <p>そこで、下記の2点について聞く。</p> <p>① 松尾第2期工業団地の前向きな土地利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工業団地開発から現在までの経緯。 ・中村市政になってからどのような企業誘致活動を行ってきたのか。 ・今後の企業誘致への考え方と誘致活動を具体的にどのように行っていくのか。 <p>② 鳥羽駅周辺の賑わいまちづくりビジョンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープラン作成から10年経過したが総括はどのようにされたのか。 ・都市マスタープランの構想の中で特に鳥羽駅周辺に於いて実現出来た事や実現出来なかった事は何か。 ・本市の表玄関である鳥羽駅周辺の今後の土地利用等によるまちづくりビジョンをどのように描いているのか。 <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	12番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 未来につなぐ人材確保について</p> <p>第六次鳥羽市総合計画の目指す都市像として「誰もがキラめく鳥羽 海の恵みがつなぐ鳥羽」とある。今、長引くコロナ禍において、大学を出て就職しても初任給の中から家賃を払い、大学時代に借りた奨学金の返還が大変という若者が全国に多数いる。</p> <p>全国で広がる奨学金返還支援事業の実施について全国の各地方自治体では、国の特別交付税措置を活用し、奨学金返還を支援する取り組みがなされている。本市においても、今後企業の人材確保や、若手従業員支援、保育士、介護士、看護師の確保や、支援、移住、定住促進等の観点からも選ばれる街として、若者の奨学金返還事業の創設について聞く。</p> <p>① 市内企業に対する人材確保の状況について。</p> <p>② 未来につなぐ人材確保のための奨学金返還支援事業について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 人工透析患者の支援について</p> <p>障がいのあるひとが充実した日常生活を送れるようそのニーズの把握に努めて、障がい福祉サービスの提供体制の確保と質の向上が求められている。</p> <p>特に人工透析患者に関しては、時間的・経済的にも多大な負担がかかることから次の点について聞く。</p> <p>① 人工透析患者にかかる負担の現状について。</p> <p>② 人工透析の通院に対する支援について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 「海の恵みがつなぐ鳥羽」のまちづくりについて</p> <p>本市において観光業と並ぶ主要な産業の一つである漁業の振興は非常に重要であると考えます。大切な水産業を守り、育て、次世代へつないでいく為には、新たな漁業の担い手の確保と漁業経営安定化のための資源管理は喫緊の課題であると考えます。「海の恵みがつなぐ鳥羽」の持続可能な漁業とそこに住み続けられるまちとはどういうまちか、鳥羽市のめざすまちづくりについて、以下の諸点を問う。</p> <p>① 漁業可能量制度（TAC）と個別割当（IQ）について。</p> <p>② 新たな漁業の担い手確保のための住環境対策について。</p> <p>③ 市長がめざす「海の恵みがつなぐまち鳥羽」とはどのようなまちか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市における障がい者支援について</p> <p>市民が障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら地域共生社会を実現するために、全ての障がいのある人が自ら望む地域生活を営むことができるよう、「日常生活」と「就労」に対する支援を充実させることが必要である。</p> <p>そこで、以下の点についてきく。</p> <p>① 本市の障がい者福祉の現状と課題について。</p> <p>② 農業や水産業、観光業と福祉の連携による、障がい者の特性に応じた就労支援及び多様な就労の機会の確保について。</p> <p>③ 地域自立支援協議会の役割について。</p> <p>④ 離島に住む人の障がい者福祉サービスについて。</p> <p>⑤ 市役所における障がい者雇用について。</p> <p>⑥ 鳥羽市障がい福祉計画（第6期）の成果目標について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の持続可能な開発目標(SDGs)のための取り組みについて</p> <p>鳥羽市の持続可能な開発目標(SDGs)達成の取り組み推進について問う。</p> <p>①これまでの取り組みと課題は。</p> <p>②鳥羽市の目指す未来像は。</p> <p>③基幹産業の水産業、観光業での産業振興に繋げていくのか。</p> <p>④市民への意識向上の啓発は。</p> <p>⑤今後の推進体制について。</p> <p>⑥パートナー登録制度の取り組みは。</p> <p>⑦子ども教育での取り組みは。</p> <p>⑧鳥羽市 SDGs 未来都市計画の策定は。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			